

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 用語及び定義	2
3 案内用図記号の分類	2
4 安全などの案内用図記号に用いる基本形状、色及び使い方	3
5 案内用図記号－施設などの種類	3
5.1 公共・一般施設図記号	3
5.2 交通施設図記号	16
5.3 商業施設図記号	21
5.4 観光・文化・スポーツ施設図記号	22
6 案内用図記号－安全などの種類	25
6.1 安全図記号	25
6.2 禁止図記号	27
6.3 注意図記号	31
6.4 指示図記号	34
6.5 災害種別一般図記号	36
6.6 洪水・堤防案内図記号	37
附属書 JA（参考）この規格で規定したもの以外の案内用図記号	38
附属書 JB（参考）優先設備及び優先席の図記号の組合せ使用方法	42
附属書 JC（参考）ベビーカー図記号の使用方法	45
附属書 JD（規定）ヘルプマークの使用方法	47
附属書 JE（参考）JIS と対応国際規格との対比表	49

## まえがき

この規格は、工業標準化法に基づき、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS Z 8210:2016** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

## 案内用図記号

## Public information symbols

## 序文

この規格は、2007年に第3版として発行された **ISO 7001**、2011年に第2版として発行された **ISO 7010** 及び2008年に第1版として発行された **ISO 20712-1** を基とし、国内で継続して使用している図記号を加え、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JE** に示す。また、この規格の**附属書 JA**～**附属書 JD** は、対応国際規格にはない事項である。

この規格は、不特定多数の人々が利用する場所、建物、印刷物などに、言葉によらない表現による“案内”に用いる図記号を規定したものである。今日、人及びものの国際交流が増大する中で、文字・言語の壁を超えて情報伝達を図る手段として、案内用図記号の果たす役割は重要である。

## 1 適用範囲

この規格は、不特定多数の人々向けの案内に用いる図記号について規定する。案内用図記号を用いて情報を伝えることが好ましい領域は、例えば、公共・一般施設、交通施設、特定の場所・建物、観光、商業・小売店など、あらゆる施設のほかに、様々な地図、案内板、標識、印刷物などである。

なお、周囲の人に援助又は配慮を必要としていることを知らせるための“ヘルプマーク”については、**附属書 JD** に規定する。また、この規格で規定したもの以外の案内用図記号を**附属書 JA**、優先設備及び優先席の図記号の組合せ使用方法について**附属書 JB**、ベビーカー図記号の使用方法について**附属書 JC** に示す。

**注記 1** この規格は、工業生産される標識板などの作成に関して適用されるものであるが、それ以外の方法、例えば、印刷する、画像で表す、など何らかの表現方法によって表示されるものにも適用できる。

なお、機器・装置用図記号は除く。

**注記 2** 図記号に関する定義及び原則には次の規格があり、この規格の適用に当たっては手引きとして用いるとよい。

a) 図記号の理解度試験方法 (**ISO 9186-1:2014**)

b) 図記号—一般案内用図記号の作成及びデザイン—要求事項 (**ISO 22727:2007**)

**注記 3** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

**ISO 7001:2007**, Graphical symbols—Public information symbols

**ISO 7010:2011**, Graphical symbols—Safety colours and safety signs—Registered safety signs

**ISO 20712-1:2008**, Water safety signs and beach safety flags—Part 1: Specifications for water safety

signs used in workplaces and public areas（全体評価：MOD）

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

## 2 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。

### 2.1

#### 図記号（Graphical symbol）

言語から独立して情報を伝える一つの意味をもつ、視覚的に知覚される図形。

### 2.2

#### 案内用図記号（Public information symbols）

不特定多数の人々に対して情報を伝えるためにデザインされた、専門的又は職業的訓練なしでも理解される図記号。

### 2.3

#### 表示事項（Referent）

図記号によって表そうとする概念、意味又は対象。

### 2.4

#### 図材（Image content）

図記号で表そうとする視覚的要素とその配置関係。

### 2.5

#### 機能（Function）

図記号を使用する意図又は目的。

## 3 案内用図記号の分類

案内用図記号の分類は、表 1 による。

表 1－案内用図記号の分類

施設などの案内用図記号	公共・一般施設図記号	不特定多数の人々が利用する施設、サービスなどを表す図記号
	交通施設図記号	交通に関わる施設、サービスなどを表す図記号
	商業施設図記号	商業に関わる施設、サービスなどを表す図記号
	観光・文化・スポーツ施設図記号	観光・文化・スポーツに関わる施設、サービスなどを表す図記号
安全などの案内用図記号	安全図記号	安全確保のための防火、危険、誘導設備及び場所を表す図記号
	禁止図記号	一般の行動において禁止事項を表す図記号
	注意図記号	一般の行動において注意事項を表す図記号
	指示図記号	一般の行動において指示事項を表す図記号
	災害種別一般図記号	災害の種類を表す図記号
	洪水・堤防案内図記号	洪水及び堤防案内を表す図記号

#### 4 安全などの案内用図記号に用いる基本形状、色及び使い方

安全、禁止、注意、指示、災害種別一般及び洪水・堤防案内に用いる基本形状、色及び使い方は、表 2 による。

表 2—安全、禁止、注意、指示、災害種別一般及び洪水・堤防案内に用いる  
基本形状、色及び使い方

区分	基本形状	色	使い方
安全	防火・危険		正方形の内部を赤で塗り潰す。
	誘導		正方形の内部を緑で塗り潰す、又は白地に緑の図材とする。
禁止		円及び内部の斜線部分は赤とし、その他は白とする。	基本形状の使い方は、次のとおりとする。 a)  の形状の中に具体的な禁止事項を意味する図記号を黒色で図示する。  は図記号にかぶせる。 b) 図記号を用いず、文章などを併用する場合は、その文章などに  を添える。
注意		三角の枠部分は黒とし内部は黄とする。	 の形状の中に具体的な注意事項を表す図記号を黒色で図示する。
指示		円の内部を青で塗り潰す。	 の形状の中に具体的な指示事項の図記号を白系統色で図示する。
災害種別一般		正方形の太枠部分は黒とし内部は白とする。 黒色は、マンセル値 N1 を使用する。	 の形状の中に具体的な災害を表す図記号を黒色で図示する。 なお、隙間をなくしてもよい。
洪水・堤防案内		正方形の太枠部分は青とし内部は白とする。 青色は、マンセル値 2.5 PB 3.5/10 を使用する。	 の形状の中に具体的な案内事項を表す図記号を青色で図示する。

#### 5 案内用図記号—施設などの種類

##### 5.1 公共・一般施設図記号

公共・一般施設図記号は、表 3 による。

表 3－案内用図記号－施設など（公共・一般施設）






番号	表示事項	図記号	記事
5.1.1	案内 Information		図材： 円で囲んだアルファベット（ローマン体）小文字の“i”。 機能： 案内及び情報提供を主とした施設及び設備を表示。番号 5.1.2 の案内所の機能を含む。
5.1.2	案内所 Question & answer		図材： 円で囲んだ疑問符“?”。 機能： 有人案内及び相談施設を表示。
5.1.3	病院 Hospital		図材： 建物の形に白抜きの十字形。 機能： 診療所及び救急病院を含む病院全般を表示。
5.1.4	救護所 First aid		図材： 緑の枠に白抜きの十字形。 機能： 救護所，保健室などの応急処置施設を表示。
5.1.4A	救護所 First aid		図材： 指に包帯をした手に白抜きの十字形。 機能： 救護所，保健室などの応急処置施設を表示。 注記： 2019 年 7 月 20 日をもって削除する。

表 3－案内用図記号－施設など（公共・一般施設）（続き）




番号	表示事項	図記号	記事
5.1.5	警察 Police		図材： 横を向いた警察官の上半身。 機能： 警察署、派出所、交番などの警察官 詰め所を表示。 注記： 警備員などにも適用できる。
5.1.6	お手洗 Toilets		図材： 線で仕切られた女性及び男性の正面 図。 機能： お手洗を表示。
5.1.7	男性 Men		図材： 男性の正面図。 機能： 男性用施設を表示。
5.1.8	女性 Women		図材： 女性の正面図。 機能： 女性用施設を表示。
5.1.9	障害のある人が使え る設備 Accessible facility		図材： 車椅子に乗っている人の側面図。 機能： 障害のある人が利用できる建築物及 び施設であることを表示。

表 3－案内用図記号－施設など（公共・一般施設）（続き）

番号	表示事項	図記号	記事
5.1.10	スロープ Slope		図材： 車椅子に乗っている人の側面図及びくさび形のスロープ。 機能： 車椅子などが利用できるスロープを表示。
5.1.11	飲料水 Drinking water		図材： 蛇口及び水の入ったコップ。 機能： 水が飲用に適する場合に表示。
5.1.12	喫煙所 Smoking area		図材： 煙が出ているたばこの側面図。 機能： 喫煙が許可される場所を表示。 注記： 火災予防条例で次の図記号の使用が規定されている場所には、次の図記号を使用する必要がある。 
5.1.13	チェックイン／受付 Check-in/Reception		図材： 係員の上半身図及びカウンターを挟んで向き合う人の背面図。 機能： 受付カウンターのある施設を表示。
5.1.14	忘れ物取扱所 Lost and found		図材： 疑問符“?”, 傘及びかばん。 機能： 遺失物を取り扱う施設を表示。



表 3—案内用図記号—施設など（公共・一般施設）（続き）






番号	表示事項	図記号	記事
5.1.15	ホテル／宿泊施設 Hotel/Accommodation		図材： ベッドに寝ている人及びフロアスタンド。 機能： 宿泊が可能な施設及び案内所を表示。
5.1.16	きっぷうりば／精算所 Tickets/Fare adjustment		図材： きっぷを手を持った人の上半身図及び券売機。 機能： きっぷを求められる施設を表示。自動券売機，有人窓口，精算機及び精算所を含む。
5.1.17	手荷物一時預かり所 Baggage storage		図材： 2 段の棚板及び 4 個の各種の荷物。 機能： 荷物を一時的に保管するための施設を表示。
5.1.18	コインロッカー Coin lockers		図材： ボックスに入ったかばん及び鍵。 機能： 荷物を一時的に保管するために自分で出し入れする鍵付きのロッカーを表示。
5.1.19	休憩所／待合室 Lounge/Waiting room		図材： 背中合わせに椅子に座っている二人の側面図。 機能： 休憩したり待つために座ることのできる施設を表示。

表 3—案内用図記号—施設など（公共・一般施設）（続き）




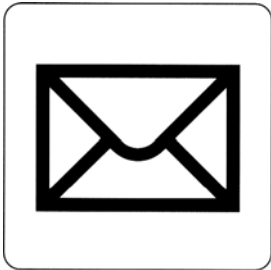
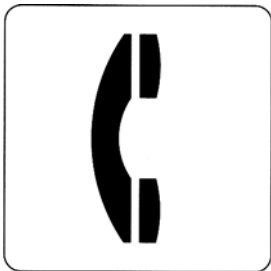
番号	表示事項	図記号	記事
5.1.20	ミーティングポイント Meeting point		図材： かばんを持った人と握手する人の側面図。 機能： 待ち合わせ場所を表示。
5.1.21	銀行・両替 Bank, money exchange		図材： 紙幣及び通貨記号の付いた 3 種類の硬貨。 機能： 銀行及び両替施設を表示。 注記： 円、ドル及びユーロの通貨記号は、状況に合わせて変更することができる。
5.1.22	キャッシュサービス Cash service		図材： 円の通貨記号の付いた紙幣及び機器の紙幣出入口。 機能： ATM 及びキャッシング機器を表示。 注記： 円の通貨記号は、状況に合わせて変更することができる。
5.1.23	郵便 Post		図材： 角封筒の裏面図。 機能： 郵便局及びポストを表示。
5.1.24	電話 Telephone		図材： 受話器の側面図。 機能： 電話通信設備を表示。

表 3－案内用図記号－施設など（公共・一般施設）（続き）






番号	表示事項	図記号	記事
5.1.25	ファックス Fax		図材： 受話器の側面図とアルファベット（サンセリフ体）大文字の“FAX”。 機能： ファックス通信設備を表示。
5.1.26	カート Cart		図材： スーツケースを乗せたカートの側面図。 機能： カート置き場及びカートが利用できる施設を表示。
5.1.27	エレベーター Elevator		図材： 人の入ったかごの上に方向を示す上下の矢印。 機能： エレベーターのある場所を表示。
5.1.28	エスカレーター Escalator		図材： エスカレーターに乗っている人の側面図。 機能： エスカレーターのある場所を表示。
5.1.29	上りエスカレーター Escalator, up		図材： エスカレーターに乗っている人の側面図及び上り方向を示す矢印。 機能： 上り用のエスカレーターのある場所を表示。

表 3—案内用図記号—施設など（公共・一般施設）（続き）

番号	表示事項	図記号	記事
5.1.30	下りエスカレーター Escalator, down		図材： エスカレーターに乗っている人の側面図及び下り方向を示す矢印。 機能： 下り用のエスカレーターのある場所を表示。
5.1.31	階段 Stairs		図材： 階段をのぼる人と降りる人の側面図。 機能： 階段のある場所を表示。
5.1.32	ベビーケアルーム Baby care room		図材： 乳幼児の上にかがみこむ人間を横から見た図。哺乳瓶の外形図を配置。 機能： ベビーケア設備の場所を表示。この図記号を使用する場合には、少なくとも授乳及びおむつ交換ができる設備が備わっているものとする。
5.1.32 A	乳幼児用設備 Nursery		図材： おむつをした乳児の正面図。 機能： 授乳、おむつ交換など、乳幼児のために使用する施設を表示。 注記 1：施設の内容を補助表示で示すことが望ましい。 注記 2：2019 年 7 月 20 日をもって削除する。
5.1.33	クローク Cloakroom		図材： ハンガー及びかばんの正面図。 機能： 上着、手荷物などを預かる施設を表示。

表 3－案内用図記号－施設など（公共・一般施設）（続き）

番号	表示事項	図記号	記事
5.1.34	更衣室 Dressing room		図材：ハンガー及び男性の正面図。 機能：更衣室を表示。更衣室（女性）と対比して使用する場合は、男性用更衣室を表示する。
5.1.35	更衣室（女性） Dressing room (women)		図材：ハンガー及び女性の正面図。 機能：女性専用の更衣室を表示。
5.1.36	シャワー Shower		図材：シャワーヘッド及び点線で示した水。 機能：シャワー施設及びシャワーを備えた部屋を表示。
5.1.37	浴室 Bath		図材：浴槽につかる人の側面図。 機能：風呂施設及び風呂を備えた部屋を表示。
5.1.38	水飲み場 Water fountain		図材：水飲み機から水を飲んでいる人の側面図。 機能：水飲み機のある場所を表示。

表 3—案内用図記号—施設など（公共・一般施設）（続き）





番号	表示事項	図記号	記事
5.1.39	くず入れ Trash box		図材： ごみ箱にごみを捨てている人の側面図。 機能： ごみを捨てる設備及び施設を表示。
5.1.40	リサイクル品回収施設 Collection facility for the recycling products		図材： 三角形を形成する互いに追いかける三つの曲がった矢印。 機能： リサイクル品を回収する設備及び施設を表示。
5.1.41	(6.6.1 へ移行)		
5.1.42	(6.6.2 へ移行)		
5.1.43	高齢者優先設備 Priority facilities for elderly people		図材： ステッキを持った人の正面立位図。 機能： 高齢者が優先的に使用できる設備を表示。
5.1.44	障害のある人・けが人優先設備 Priority facilities for injured people		図材： 松葉づえ（杖）を持った人の正面立位図。 機能： けが人を含む障害のある人が優先的に使用できる設備を表示。

表 3－案内用図記号－施設など（公共・一般施設）（続き）


番号	表示事項	図記号	記事
5.1.45	内部障害のある人優先設備 Priority facilities for people with internal disabilities, heart pacer, etc.		図材： 身体の内部を意味するハート形の中に医療を意味する十字形を示した人の正面立位図。 機能： 身体の内部に障害のある人が優先的に使用できる設備を表示。
5.1.46	乳幼児連れ優先設備 Priority facilities for people accompanied with small children		図材： 乳幼児を抱く人の正面立位図。 機能： 乳幼児を連れた人が優先的に使用できる設備を表示。
5.1.47	妊産婦優先設備 Priority facilities for expecting mothers		図材： 腹部の膨らんだ女性の正面立位図。 機能： 妊産婦が優先的に使用できる設備を表示。
5.1.48	高齢者優先席 Priority seats for elderly people		図材： ステッキを持った人の側面座位図。 機能： 高齢者が優先的に使用できる席を表示。
5.1.49	障害のある人・けが人優先席 Priority seats for injured people		図材： 松葉づえ（杖）を持った人の側面座位図。 機能： けが人を含む障害のある人が優先的に使用できる席を表示。

表 3－案内用図記号－施設など（公共・一般施設）（続き）

番号	表示事項	図記号	記事
5.1.50	内部障害のある人優先席 Priority seats for people with internal disabilities, heart pacer, etc.		図材： 身体の内部を意味するハート形の中に医療を意味する十字形を示した人の側面座位図。 機能： 身体の内部に障害のある人が優先的に使用できる席を表示。
5.1.51	乳幼児連れ優先席 Priority seats for people accompanied with small children		図材： 乳幼児を膝の上に抱く人の側面座位図。 機能： 乳幼児を連れた人が優先的に使用できる席を表示。
5.1.52	妊産婦優先席 Priority seats for expecting mothers		図材： 腹部の膨らんだ女性の側面座位図。 機能： 妊産婦が優先的に使用できる席を表示。
5.1.53	ベビーカー Prms/Strollers		図材： 子供の乗ったベビーカーを押している人の側面図。 機能： ベビーカー置き場及びベビーカーが利用できる施設を表示。
5.1.54	無線 LAN Wireless LAN		図材： 中心点から広がる、電波を表す 3 本の円弧。 機能： 無線によるインターネット接続が可能な場所を表示。



表 3－案内用図記号－施設など（公共・一般施設）（続き）

番号	表示事項	図記号	記事
5.1.55	充電コーナー Charge point		図材： 電気プラグの上面図及びケーブル。 機能： 携帯電話，スマートフォン等の通信機器及び電動車椅子等が充電できる場所を表示。
5.1.56	自動販売機 Vending machine		図材： ペットボトル，缶の側面図，円の通貨記号のついた硬貨及び傾斜した投入口。 機能： 飲食物を購入できる自動販売機の場所を表示。 注記： 円の通貨記号及び飲食物は，状況に合わせて変更することができる。
5.1.57	海外発行カード対応 ATM ATM for overseas cards		図材： 円の通貨記号のついた紙幣，機器の紙幣出入り口及びアルファベット（サンセリフ体）大文字の“ATM”及び地球儀。 機能： 海外で発行されたカードに対応している ATM，キャッシング機器及び機器が設置されている場所を表示。 注記： 円の通貨記号は，状況に合わせて変更することができる。
5.1.58	オストメイト用設備 ／オストメイト Facilities for Ostomy or Ostomate		図材： 人の上半身正面図の右下に白抜き十字形。 機能： 人工肛門保有者や人工ぼうこう（膀胱）保有者の設備がある場所を表示，また人工肛門保有者や人工ぼうこう（膀胱）保有者のことを表す。

## 5.2 交通施設図記号

交通施設図記号は、表 4 による。

表 4—案内用図記号—施設など（交通施設）



番号	表示事項	図記号	記事
5.2.1	航空機／空港 Aircraft/Airport		図材： 航空機の平面図。 機能： 航空輸送施設及び空港を表示。
5.2.2	鉄道／鉄道駅 Railway/Railway station		図材： 電車の正面図及び線路。 機能： 地下鉄を含む軌道系交通施設及び鉄道駅を表示。
5.2.3	船舶／フェリー／港 Ship/Ferry/Port		図材： 船の側面図。 機能： 水上交通施設及び港を表示。
5.2.4	ヘリコプター／ ヘリポート Helicopter/Heliport		図材： ヘリコプターの側面図。 機能： ヘリコプター輸送施設及びヘリポートを表示。
5.2.5	バス／バスのりば Bus/Bus stop		図材： バスの側面図。 機能： バス，バス輸送施設及びバス停留所を表示。

表 4－案内用図記号－施設など（交通施設）（続き）





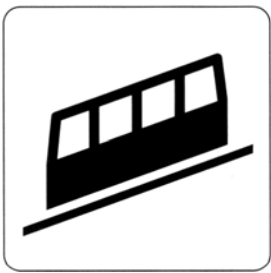
番号	表示事項	図記号	記事
5.2.6	タクシー／ タクシーのりば Taxi/Taxi stop		図材： タクシーの正面図及びアルファベット（サンセリフ体）大文字の“TAXI”。 機能： タクシー輸送施設及びタクシー乗降所を表示。
5.2.7	レンタカー Rent a car		図材： 乗用車の正面図及びレンタカーを表すアルファベット（サンセリフ体）大文字の“R”のサイン。 機能： 車両貸し出し施設を表示。
5.2.8	自転車 Bicycle		図材： 自転車の側面図。 機能： 自転車及び自転車に関する施設を表示。
5.2.9	ロープウェイ Cable car		図材： ロープウェイの側面図及びケーブル。 機能： ロープウェイ輸送施設を表示。
5.2.10	ケーブル鉄道 Cable railway		図材： ケーブルカーの側面図及び軌道。 機能： ケーブルカー輸送施設を表示。

表 4—案内用図記号—施設など（交通施設）（続き）






番号	表示事項	図記号	記事
5.2.11	駐車場 Parking		図材： 円で囲んだアルファベット（サンセリフ体）大文字の“P”及び自動車の正面図。 機能： 車両が駐車してもよい施設及び場所を表示。道路交通法による道路以外において使用する。
5.2.11 A	駐車場 Parking		図材： 円で囲んだアルファベット（サンセリフ体）大文字の“P”。 機能： 車両が駐車してもよい施設及び場所を表示。道路交通法による道路以外において使用する。 注記： 2019 年 7 月 20 日をもって削除する。
5.2.12	出発 Departures		図材： 滑走路から離陸する上向きの航空機。 機能： 空港における出発動線及び出発施設を表示。
5.2.13	到着 Arrivals		図材： 滑走路に着陸する下向きの航空機及び前輪。 機能： 空港における到着動線及び到着施設を表示。
5.2.14	乗り継ぎ Connecting flights		図材： 2 機の航空機及び鞆を持った人の側面図。 機能： 空港における乗り継ぎ動線及び乗り継ぎ施設を表示。

表 4－案内用図記号－施設など（交通施設）（続き）

番号	表示事項	図記号	記事
5.2.14 A	乗り継ぎ Connecting flights		図材： 2 機の航空機とそれをつなぐ円形の点線。 機能： 空港における乗り継ぎ動線及び乗り継ぎ施設を表示。 注記： 2019 年 7 月 20 日をもって削除する。
5.2.15	手荷物受取所 Baggage claim		図材： ターンテーブルからスーツケースを受け取る人間の側面図。 機能： 空港などにおける到着動線及び手荷物受取施設を表示。
5.2.15 A	手荷物受取所 Baggage claim		図材： スーツケースの正面図。 機能： 空港などにおける到着動線及び手荷物受取施設を表示。 注記： 2019 年 7 月 20 日をもって削除する。
5.2.16	税関／荷物検査 Customs/Baggage check		図材： 検査官の上半身と開いたスーツケース。 機能： 税関などの荷物検査施設を表示。
5.2.17	出国手続／入国手続 ／検疫／書類審査 Immigration/Quarantie/ Inspection		図材： 検査官の上半身及び手に持った書類。 機能： 出入国手続きなどの書類審査施設を表示。

表 4－案内用図記号－施設など（交通施設）（続き）

番号	表示事項	図記号	記事
5.2.18	駅事務室／駅係員 Station office/Station staff		図材： 制服，制帽を着用した人の上半身，右上に配置した電車の正面図及び線路。 機能： 駅務室，乗務員室，有人改札口など駅係員が配置された場所を表示。 注記： 鉄道の図記号は，交通施設の種別に合わせて変更することができる。
5.2.19	一般車 Car		図材： 乗用車の正面図。 機能： 個人所有の車両全般が通行できる区分及び乗降所を表示。
5.2.20	レンタサイクル／シェアサイクル Rental bicycle/Bicycle sharing		図材： 台形ラックに止められた後輪カバーのついた自転車の側面図，及び右上に配置したカードを持った手。 機能： 貸出用や共有用の自転車が配置された場所及び施設を表示。

### 5.3 商業施設図記号

商業施設図記号は、表 5 による。

表 5—案内用図記号—施設など（商業施設）

番号	表示事項	図記号	記事
5.3.1	レストラン Restaurant		図材： 垂直に並べられたナイフ及びフォーク。 機能： 洋食，和食などを含む食事を提供する施設を表示。
5.3.2	喫茶・軽食 Coffee shop		図材： カップ及び受皿の側面図。 機能： 喫茶などの軽食を提供する施設を表示。
5.3.3	バー Bar		図材： カクテルグラスの側面図。 機能： アルコール飲料を提供する施設を表示。
5.3.4	ガソリンスタンド Gasoline station		図材： 給油機の正面図。 機能： 自動車用燃料が入手できる施設を表示。
5.3.5	会計 Cashier		図材： 円で囲んだ日本円を表す通貨記号。 機能： 会計施設を表示。 注記： 円の通貨記号は，必要に応じて変更することができる。

表 5—案内用図記号—施設など（商業施設）（続き）

番号	表示事項	図記号	記事
5.3.6	コンビニエンスストア Convenience store		図材： V 型の屋根に覆われたサンドイッチ及びペットボトルの側面図。 機能： コンビニエンスストアの場所を表示。

## 5.4 観光・文化・スポーツ施設図記号

観光・文化・スポーツ施設図記号は、表 6 による。

表 6—案内用図記号—施設など（観光・文化・スポーツ施設）

番号	表示事項	図記号	記事
5.4.1	展望地／景勝地 View point		図材： 双眼鏡を持つ人の側面図及び手すり。 機能： 展望地及び景観のよい場所を表示。
5.4.2	陸上競技場 Athletic stadium		図材： 走っている人の側面図。 機能： 陸上競技施設を表示。
5.4.3	サッカー競技場 Football stadium		図材： ボールを蹴っている人の正面図。 機能： サッカー競技施設を表示。



表 6―案内用図記号―施設など（観光・文化・スポーツ施設）（続き）





番号	表示事項	図記号	記事
5.4.4	野球場 Baseball stadium		図材： バットを構えている人の正面図。 機能： 野球競技施設を表示。
5.4.5	テニスコート Tennis court		図材： ラケットを持ってボールを打とうとしている人の正面図。 機能： テニス競技施設を表示。
5.4.6	海水浴場／プール Swimming place		図材： 泳いでいる人の上半身及び波。 機能： 水泳施設を表示。
5.4.7	スキー場 Ski ground		図材： スキーをしている人の側面図。 機能： スキー施設を表示。
5.4.8	キャンプ場 Camp site		図材： テントを斜め前方から見た図。 機能： キャンプ施設を表示。

表 6―案内用図記号―施設など（観光・文化・スポーツ施設）（続き）

番号	表示事項	図記号	記事
5.4.9a	温泉 Hot spring		図材： だ円枠の上に湯気を表す 3 本の曲線。 機能： 温泉施設を表示。
5.4.9b	温泉 Hot spring		図材： だ円枠の中に 3 人の半身，その上に湯気を表す 3 本の曲線。 機能： 温泉施設を表示。
5.4.10	コミュニケーション Communication in the specified language		図材： 人及び会話の吹き出し図。 機能： コミュニケーションの際の利用可能な言語を表示（英語の例）。 注記： 言語（“ENGLISH” の部分）は，他の言語及び国旗に変更することができる。
5.4.11	靴を脱いでください Take off your shoes		図材： 足及び靴の側面図。 機能： 靴を脱いで入る施設を表示。
5.4.12	イヤホンガイド Audio guide		図材： ヘッドフォン及び人の上半身正面図。 機能： 音声ガイダンスを聴くことのできる機器が設置されている場所，音声ガイダンスが用意されている場所及び施設を表示。

## 6 案内用図記号－安全などの種類

### 6.1 安全図記号

安全図記号は、表 7 による。

表 7－案内用図記号－安全など（安全）

番号	表示事項	図記号	記事
6.1.1	消火器 Fire extinguisher		図材： 赤地に白抜き消火器の側面図。 機能： 消火設備のある場所の表示又は消火器自体を表示。
6.1.2	非常電話 Emergency telephone		図材： 赤地に白抜き受話器の側面図及びアルファベット（サンセリフ体）大文字の“SOS”。 機能： 通話による緊急通報装置を表示。
6.1.3	非常ボタン Emergency call button		図材： 赤地に白抜きのボタンを押す手及びアルファベット（サンセリフ体）大文字の“SOS”。 機能： 押ボタンによる緊急通報装置を表示。

表 7ー案内用図記号ー安全など（安全）（続き）

番号	表示事項	図記号	記事
6.1.4	広域避難場所 Safety evacuation area		図材： 白地に緑色の走る人の姿及び場所を示すだ円。 機能： 指定された広域避難場所又は避難場所の情報を表示。
6.1.5	避難所（建物） Safety evacuation shelter		図材： 緑地に白抜きの屋根のある施設及び施設に逃げ込む人の姿。 機能： 指定された避難所（建物）又は避難所（建物）の情報を表示。 なお、文字による補助表示が必要。
6.1.6	津波避難場所 Tsunami evacuation area		図材： 緑地に白抜きの津波、高台及び逃げ込む人の姿。 機能： 津波に対しての安全な避難場所（高台）の情報を表示。 なお、文字による補助表示が必要。
6.1.7	津波避難ビル Tsunami evacuation building		機能： 緑地に白抜きの津波、津波避難ビル及び逃げ込む人の姿。 機能： 津波に対しての安全な避難場所（津波避難ビル）の情報を表示。 なお、文字による補助表示が必要。
6.1.8	列車の非常停止ボタン Emergency train stop button		図材： 赤地に白抜きのボタンを押す手、鉄道の正面図、線路及びアルファベット（サンセリフ体）大文字の“STOP”。 機能： 押しボタンによる列車非常停止装置を表示。

## 6.2 禁止図記号

禁止図記号は、表 8 による。

表 8—案内用図記号—安全など（禁止）

番号	表示事項	図記号	記事
6.2.1	一般禁止 General prohibition		図材： 赤円に左上から右下への赤斜線（禁止の基本形状）。 機能： 特定の行為を禁止する場合に表示。 道路交通法による道路以外において使用する。
6.2.2	禁煙 No smoking		図材： 煙が出ているたばこの側面図に禁止の基本形状を重ねる。 機能： 喫煙を禁止する場合に表示。 注記： 火災予防条例で次の図記号の使用が規定されている場所には、次の図記号を使用する必要がある。 
6.2.3	火気厳禁 No open flame		図材： 火のついたマッチに禁止の基本形状を重ねる。 機能： 火気使用を禁止する場合に表示。 注記： 火災予防条例（例）にて同一の図記号を規定。
6.2.4	進入禁止 No entry		図材： 赤で塗り潰した円形の中に白抜き横棒。 機能： 人、車両などの進入を禁止する場合に表示。道路交通法による道路以外において使用する。

表 8－案内用図記号－安全など（禁止）（続き）

番号	表示事項	図記号	記事
6.2.5	駐車禁止 No parking		図材： アルファベット（サンセリフ体）大文字の“P”に禁止の基本形状を重ねる。 機能： 車両の駐車を禁止する場合に表示。道路交通法による道路以外において使用する。
6.2.6	自転車乗り入れ禁止 No bicycles		図材： 自転車の側面図に禁止の基本形状を重ねる。 機能： 自転車の乗り入れ及び駐輪を禁止する施設並びに場所を表示。道路交通法による道路以外において使用する。
6.2.7	立入禁止 No admittance		図材： 人の正面図に禁止の基本形状を重ねる。 機能： 許可された人以外の立ち入りを禁止する施設及び場所を表示。
6.2.8	走るな／かけ込み禁止 Do not rush		図材： 走っている人の側面図に禁止の基本形状を重ねる。 機能： 駆け込み乗車禁止など、走る行為を禁止する場合に表示。
6.2.9	さわるな Do not touch		図材： 手のひらに禁止の基本形状を重ねる。 機能： 特定の場所に触わることを禁止する場合に表示。

表 8－案内用図記号－安全など（禁止）（続き）

番号	表示事項	図記号	記事
6.2.10	捨てるな Do not throw rubbish		図材： 手の側面図及び紙くずに禁止の基本形状を重ねる。 機能： ゴミを捨てる行為を禁止する場合に表示。
6.2.11	飲めない Not drinking water		図材： 蛇口及び水の入ったコップに禁止の基本形状を重ねる。 機能： 水質が飲用に適さない場合に表示。
6.2.12	携帯電話使用禁止 Do not use mobile phones		図材： 携帯電話の正面図に禁止の基本形状を重ねる。 機能： 携帯電話の使用を禁止する場合に表示。
6.2.13	電子機器使用禁止 Do not use electronic devices		図材： ノートブックパソコンの正面図に禁止の基本形状を重ねる。 機能： 電子機器の使用を禁止する場合に表示。 なお、文字による補助表示が必要。
6.2.14	撮影禁止 Do not take photographs		図材： カメラの正面図に禁止の基本形状を重ねる。 機能： 写真撮影を禁止する場合に表示。

表 8－案内用図記号－安全など（禁止）（続き）

番号	表示事項	図記号	記事
6.2.15	フラッシュ撮影禁止 Do not take flash photographs		図材： 発光したカメラの正面図に禁止の基本形状を重ねる。 機能： 発光写真撮影を禁止する場合に表示。
6.2.16	ベビーカー使用禁止 Do not use prams/strollers		図材： 子供の乗ったベビーカーを押している人の側面図に禁止の基本形状を重ねる。 機能： ベビーカーの使用を禁止する場合に表示。
6.2.17	遊泳禁止 No swimming		図材： 泳いでいる人の上半身図及び波に禁止の基本形状を重ねる。 機能： 水泳を禁止する場合に表示。
6.2.18	キャンプ禁止 No camping		図材： テントを斜め前方から見た図に禁止の基本形状を重ねる。 機能： キャンプ行為を禁止する場合に表示。
6.2.19	ホームドア：たてかけ ない Do not lean objects on the platform door		図材： ホームドア及びスキー板に禁止の基本形状を重ねる。 機能： ホームドアやホーム柵にものをたてかける行為を禁止する場合に表示。



表 8—案内用図記号—安全など（禁止）（続き）

番号	表示事項	図記号	記事
6.2.20	ホームドア：乗り出さない Do not lean over the platform door		図材： ホームドア及びホームドアに手をかけている人に禁止の基本形状を重ねる。 機能： ホームドアやホーム柵から乗り出す行為を禁止する場合に表示。

### 6.3 注意図記号

注意図記号は、表 9 による。



表 9—案内用図記号—安全など（注意）

番号	表示事項	図記号	記事
6.3.1	一般注意 General caution		図材： “!” マークを注意の基本形状に入れる。 機能： 特定しない一般的な注意を示す場合に表示。
6.3.2	障害物注意 Caution, obstacles		図材： 障害物につまずいている人の側面図を注意の基本形状に入れる。 機能： 障害物に注意することを示す場合に表示。 なお、文字による補助表示が必要。
6.3.3	上り段差注意 Caution, uneven access/ up		図材： 上りの段差及び人の側面図を注意の基本形状に入れる。 機能： 上り段差のある箇所の通行に注意を促す場合に表示。

表 9－案内用図記号－安全など（注意）（続き）

番号	表示事項	図記号	記事
6.3.4	下り段差注意 Caution, uneven access/ down		図材： 下りの段差及び人の側面図を注意の基本形状に入れる。 機能： 下り段差のある箇所の通行に注意を促す場合に表示。
6.3.5	滑面注意 Caution, slippery surface		図材： 転倒しかかった人の側面図を注意の基本形状に入れる。 機能： 滑りやすい床面又は路面に対する注意を促す場合に表示。
6.3.6	転落注意 Caution, drop		図材： 転落しかけた人の側面図を注意の基本形状に入れる。 機能： 転落の可能性がある場所に対する注意を促す場合に表示。 なお、文字による補助表示が必要。
6.3.7	天井に注意 Caution, overhead		図材： 片手を挙げた人の上半身と頭上の突起物のある天井を注意の基本形状に入れる。 機能： 頭上の突起物に対する注意を促す場合に表示。
6.3.8	感電注意 Caution, electricity		図材： 下方に向いたジグザグの矢印を注意の基本形状に入れる。 機能： 高圧電力による感電の注意を促す場合に表示。 なお、文字による補助表示が必要。

表 9－案内用図記号－安全など（注意）（続き）

番号	表示事項	図記号	記事
6.3.9	津波注意（津波危険地帯） Warning; Tsunami hazard zone		図材： 津波。 機能： 地震が起きた場合、津波が来襲する危険のある地域を表示。
6.3.10	土石流注意 Warning; debris flow		図材： 山並みと土砂が流れ落ちる河川を注意の基本形状に入れる。 機能： 土石流が発生する危険のある地域を表示。 注記： 文字による補助表示をすることが望ましい。
6.3.11	崖崩れ・地滑り注意 Warning; steep slope failure, landslide		図材： 崖と大小複数の岩石の側面図を注意の基本形状に入れる。 機能： 崖崩れ・地滑りの発生する危険のある地域を表示。 注記： 文字による補助表示をすることが望ましい。
6.3.12	ホームドア：ドアに手を挟まないように注意 Caution, closing doors		図材： ドアに挟まれた手を注意の基本形状に入れる。 機能： ホームドアやホーム柵に挟まれる可能性がある場所に対する注意を促す場合に表示。




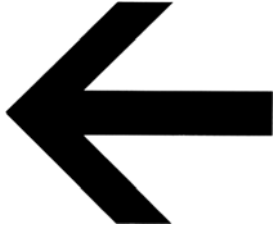

## 6.4 指示図記号

指示図記号は、表 10 による。

表 10－案内用図記号－安全など（指示）

番号	表示事項	図記号	記事
6.4.1	一般指示 General mandatory		図材： “!” マークを指示の基本形状に入れる。 機能： 図記号に添えられた文言に基づく行為を指示する場合に表示。
6.4.2	静かに Quiet please		図材： 人差し指が添えられた人の顔の側面図を指示の基本形状に入れる。 機能： 静かにすることを指示する場合に表示。
6.4.3	左側にお立ちください Please stand on the left		図材： 歩行装置上で左に寄った人の正面図を指示の基本形状に入れる。 機能： 立ち止まる場合は左に寄ることを指示する場合に表示。 なお、文字による補助表示が必要。
6.4.4	右側にお立ちください Please stand on the right		図材： 歩行装置上で右に寄った人の正面図を指示の基本形状に入れる。 機能： 立ち止まる場合は右に寄ることを指示する場合に表示。 なお、文字による補助表示が必要。
6.4.5	一列並び Line up single file		図材： 一列に並んだ人の正面図を指示の基本形状に入れる。 機能： 一列に整列することを指示する場合に表示。 なお、文字による補助表示が必要。

表 10—案内用図記号—安全など（指示）（続き）

番号	表示事項	図記号	記事
6.4.6	二列並び Line up in twos		図材： 二列に並んだ人の正面図を指示の基本形状に入れる。 機能： 二列に整列することを指示する場合に表示。 なお、文字による補助表示が必要。
6.4.7	三列並び Line up in threes		図材： 三列に並んだ人の正面図を指示の基本形状に入れる。 機能： 三列に整列することを指示する場合に表示。 なお、文字による補助表示が必要。
6.4.8	四列並び Line up in fours		図材： 四列に並んだ人の正面図を指示の基本形状に入れる。 機能： 四列に整列することを指示する場合に表示。 なお、文字による補助表示が必要。
6.4.9	矢印 Directional arrow		図材： ベルギー式の矢印。 機能： 方向の指示。
6.4.10	シートベルトを締める Fasten seat belt		図材： バックルの正面図及び水平に向き合う矢印を指示の基本形状に入れる。 機能： シートベルトを締めることを指示する場合に表示。

## 6.5 災害種別一般図記号

災害種別一般図記号は、表 11 による。



表 11－案内用図記号－安全など（災害種別一般）

番号	表示事項	図記号	記事
6.5.1	洪水／内水氾濫 Flood from rivers/Flood from inland waters		図材： 上昇した水面を表す二重の波を災害種別一般の基本形状に入れる。 機能： 災害のうち、洪水及び／又は内水氾濫を表示。避難場所図記号などと組み合わせて使用する。 注記： 文字による補助表示をすることが望ましい。
6.5.2	土石流 Debris flow		図材： 山並みと土砂が流れ落ちる河川を災害種別一般の基本形状に入れる。 機能： 災害のうち、土石流を表示。避難場所図記号などと組み合わせて使用する。 注記： 文字による補助表示をすることが望ましい。
6.5.3	津波／高潮 Tsunami/Storm surges		図材： 海面から盛り上がった波を災害種別一般の基本形状に入れる。 機能： 災害のうち、津波及び／又は高潮を表示。避難場所図記号などと組み合わせて使用する。 注記： 文字による補助表示をすることが望ましい。
6.5.4	崖崩れ・地滑り Steep slope failure, landslide		図材： 崖と大小複数の岩石の側面図を災害種別一般の基本形状に入れる。 機能： 災害のうち、崖崩れ及び地滑りを表示。避難場所図記号などと組み合わせて使用する。 注記： 文字による補助表示をすることが望ましい。
6.5.5	大規模な火事 Fire disasters		図材： 複数の家及び燃え広がった炎を災害種別一般の基本形状に入れる。 機能： 災害のうち、大規模な火事を表示。避難場所図記号などと組み合わせて使用する。 注記： 文字による補助表示をすることが望ましい。

## 6.6 洪水・堤防案内図記号

洪水・堤防案内図記号は、表 12 による。

表 12—案内用図記号—安全など（洪水・堤防案内）

番号	表示事項	図記号	記事
6.6.1	洪水 Flood		図材： 青色の上昇した水面を表す波を洪水・堤防案内の基本形状に入れる。 機能： 洪水の影響を受ける可能性がある場所であることを表示。 なお、文字による補助表示が必要。
6.6.2	堤防 Levee		図材： 青色の堤防の断面を表す台形を洪水・堤防案内の基本形状に入れる。 機能： 居住している地域を守る堤防を表示。 なお、文字による補助表示が必要。

## 附属書 JA (参考)

### この規格で規定したもの以外の案内用図記号

この附属書は、本体で規定した案内用図記号以外のもので、“標準案内用図記号ガイドライン”<sup>1)</sup> に収録されているものを示す。

**注**<sup>1)</sup> “標準案内用図記号ガイドライン”は、一般案内用図記号検討委員会（事務局：公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団）で2001年3月に策定したものである。

#### JA.1 商業施設図記号

本体以外に“標準案内用図記号ガイドライン”に収録されている、商業施設図記号を**表 JA.1**に示す。これらは表示事項及び機能を変えない範囲で図材を変更することができる。

**表 JA.1—標準案内用図記号（商業施設）**

番号	表示事項	図記号	記事
JA.1.1	店舗／売店 Shop		図材： 手提げ紙袋及びギフトボックス。 機能： デパート，ショッピングエリア，土産品売り場などを表示。
JA.1.2	新聞・雑誌 Newspapers, magazines		図材： 新聞及び雑誌。 機能： 飲食物販売を含む物販施設などを表示。
JA.1.3	薬局 Pharmacy		図材： 薬剤の入った容器及び薬のタブレット。 機能： 薬局，ドラッグストアなどを表示。
JA.1.4	理容／美容 Barber/Beauty salon		図材： はさみ及びくし（櫛）。 機能： 理髪店，美容室などを表示。
JA.1.5	手荷物託配 Baggage delivery service		図材： 配達用車両及びスーツケース。 機能： 託配サービス，荷物の配送，荷物受付施設など表示。




## JA.2 観光・文化・スポーツ施設図記号

本体以外に“標準案内用図記号ガイドライン”に収録されている、観光・文化・スポーツ施設図記号を表 JA.2 に示す。これらは表示事項及び機能を変えない範囲で図材を変更することができる。

表 JA.2—標準案内用図記号（観光・文化・スポーツ施設）

番号	表示事項	図記号	記事
JA.2.1	公園 Park		図材： 樹木とベンチ。 機能： 公園を表示。
JA.2.2	博物館／美術館 Museum		図材： 対象となる建造物の正面図。 機能： 博物館，美術館などを表示。
JA.2.3	歴史的建造物 1 Historical monument 1		図材： 対象となる建造物の正面図。 機能： 神社，仏閣などの歴史的建造物を表示。
JA.2.4	歴史的建造物 2 Historical monument 2		図材： 対象となる建造物の正面図。 機能： 城などの歴史的建造物を表示。
JA.2.5	歴史的建造物 3 Historical monument 3		図材： 対象となる建造物の正面図。 機能： 塔などの歴史的建造物を表示。
JA.2.6	自然保護 Nature reserve		図材： 樹木及び適切な動物。 機能： 植物相，動物相の保護のための特別地域の場所を表示。
JA.2.7	スポーツ活動 Sporting activities		図材： 3 種類の明確なスポーツ用具。 機能： スポーツ活動のために区分されたある特定の場所及び施設を表示。
JA.2.8	スカッシュコート Squash court		図材： ラケットを持ってボールを壁に向けて打とうとしている人の背面図。 機能： スカッシュ競技施設を表示。

表 JA.2—標準案内用図記号（観光・文化・スポーツ施設）（続き）

番号	表示事項	図記号	記事
JA.2.9	スキーリフト Ski lift		図材： スキー道具を着用してロープを握った人の側面図。 機能： スキーリフト設備を表示。
JA.2.10	腰掛け式リフト Chair lift		図材： ケーブルからつり下げられたリフトに座った人の側面図。 機能： 腰掛け式リフト設備を表示。

### JA.3 安全図記号

本体以外に“標準案内用図記号ガイドライン”に収録されている，消防法令で定められた図記号を**表 JA.3**に示す。

表 JA.3—標準案内用図記号（安全）

番号	表示事項	図記号	記事
JA.3.1	非常口 Emergency exit		図材： 白地に緑色の走る人の姿及び出口の枠。 機能： 避難口又は避難経路であることを表示。

### JA.4 禁止図記号

本体以外に“標準案内用図記号ガイドライン”に収録されている，禁止図記号を**表 JA.4**に示す。これらは，表示事項及び機能を変えない範囲で図材を変更することができる。


表 JA.4—標準案内用図記号（禁止）

番号	表示事項	図記号	記事
JA.4.1	飲食禁止 Do not eat or drink here		図材： 飲み物及び食べ物（ハンバーガー）に禁止の基本形状を重ねる。 機能： 飲食を禁止する場所に表示。
JA.4.2	ペット持ち込み禁止 No uncaged animals		図材： 子犬など，動物の側面図に禁止の基本形状を重ねる。 機能： ペットの持ち込みを禁止する場所に表示。

## JA.5 指示図記号

本体以外に“標準案内用図記号ガイドライン”に収録されている, 指示に関わる図記号を**表 JA.5**に示す。

**表 JA.5—標準案内用図記号（指示）**

番号	表示事項	図記号	記事
JA.5.1	安全バーを閉める Close overhead safety bar		図材： リフトに座り頭上のバーを持って下ろそうとする人及び下向きの矢印。 機能： 乗客に対して、リフトに乗ったらすぐに安全バーを閉めることを指示する場合に表示。
JA.5.2	安全バーを開ける Open overhead safety bar		図材： リフトに座りバーを持って上げようとする人及び上向きの矢印。 機能： 乗客に対して、降車位置付近で安全バーを上げることを指示する場合に表示。
JA.5.3	スキーの先を上げる Raise ski tips		図材： リフトに座ってスキー道具を着用した人の側面図及びスキー先端の上向き矢印。 機能： 乗客がスキーの先端を上げなければならない位置を表示。

## 附属書 JB (参考)

### 優先設備及び優先席の図記号の組合せ使用方法

この附属書は、5.1 に規定する公共・一般施設図記号のうち、優先設備及び優先席の図記号を表示する場合の使用方法について記載する。優先設備及び優先席の図記号には、それぞれ“高齢者”，“障害のある人・けが人”，“内部障害のある人”，“乳幼児連れ”及び“妊産婦”の5種類があり、単独で使用することもできるが、用途に応じて組み合わせて使用することを基本とする。ここでは、次の4項目の使用方法について説明する。

- － 組合せ使用（図記号セット）の基本
- － 優先設備セットの使用例
- － 優先席セットの使用例
- － その他の組合せ使用例

#### JB.1 組合せ使用（図記号セット）の基本

優先設備図記号は立位、優先席図記号は座位の図形で構成しており、設備上の制限がない場合は、必要に応じて、複数を組み合わせて表示する（図 JB.1 参照）。表示する場合は、補助的に、文字による説明を付記することが望ましい（図 JB.2 参照）。



図 JB.1—組合せ使用（図記号セット）の基本

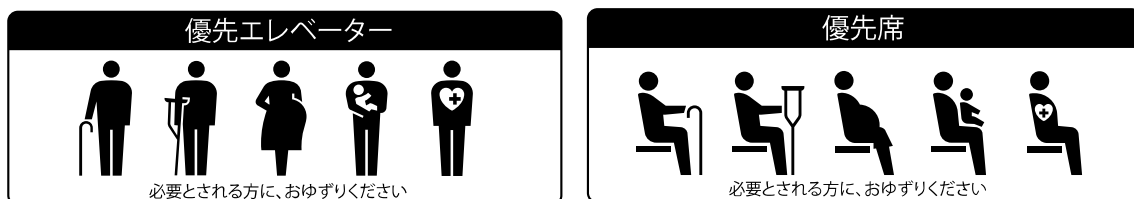


図 JB.2—組合せ使用（補助的に文字を入れた例）

#### JB.2 優先設備セットの使用例

優先設備図記号の組合せは、例えば、優先利用を推奨するエレベーター又は駐車場の優先エリアを示す場合、航空機で優先搭乗を受け付ける場合などに使用する。図 JB.3 にエレベーターでの使用例を示す。

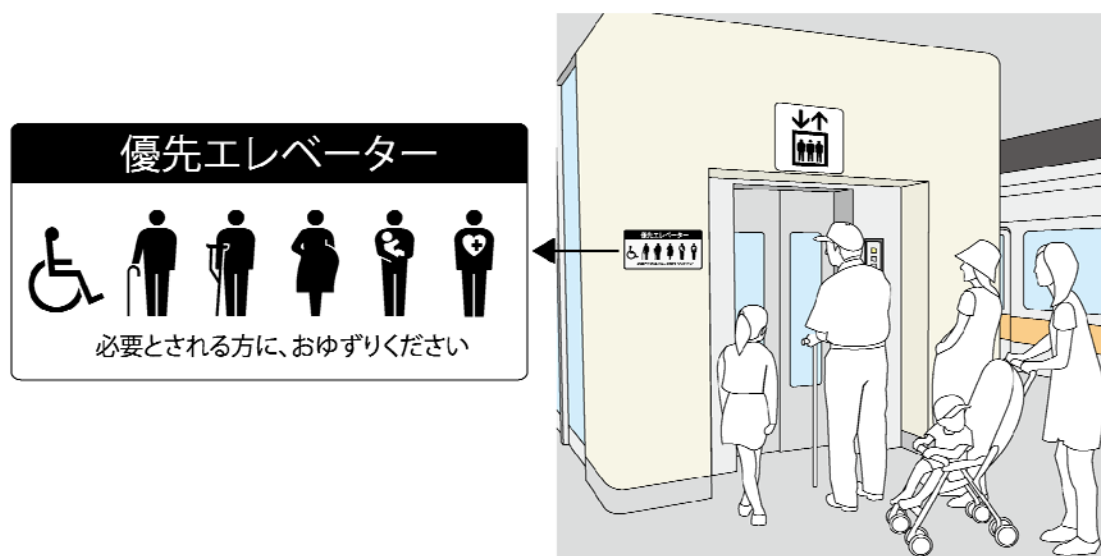


図 JB.3—優先エレベーターでの使用例

### JB.3 優先席セットの使用例

優先席図記号の組み合わせは、例えば、電車又はバスの優先席、待合室などの優先席を示す場合に使用する。図 JB.4 に電車の優先席での使用例、図 JB.5 に待合室の優先席での使用例を示す。

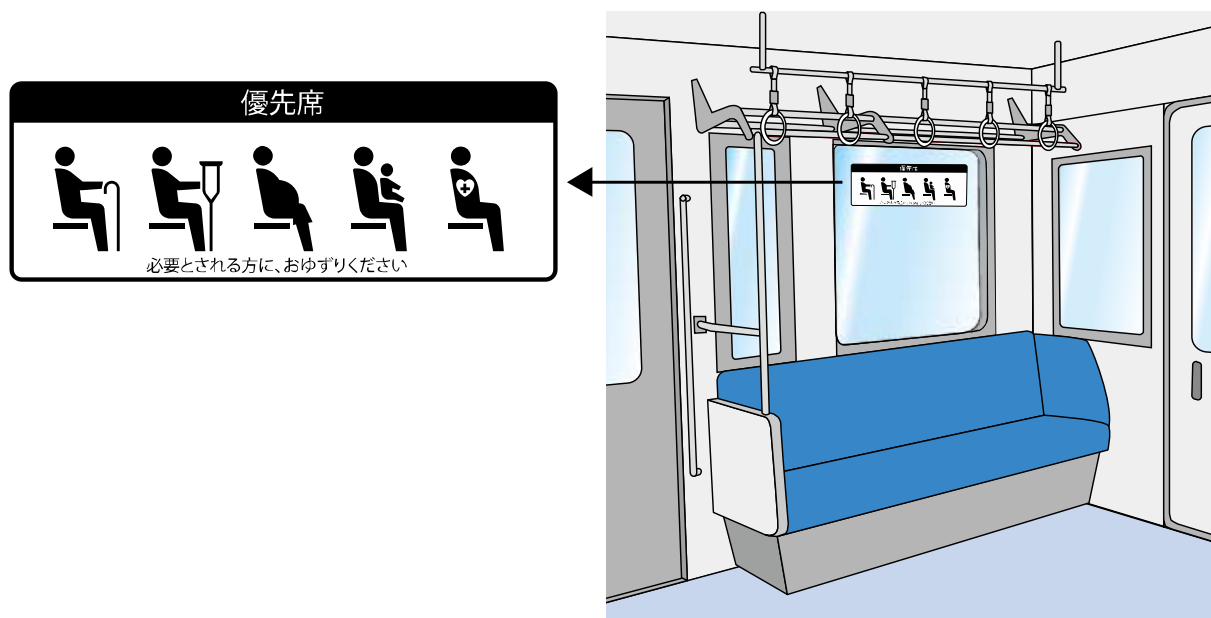


図 JB.4—電車の優先席での使用例

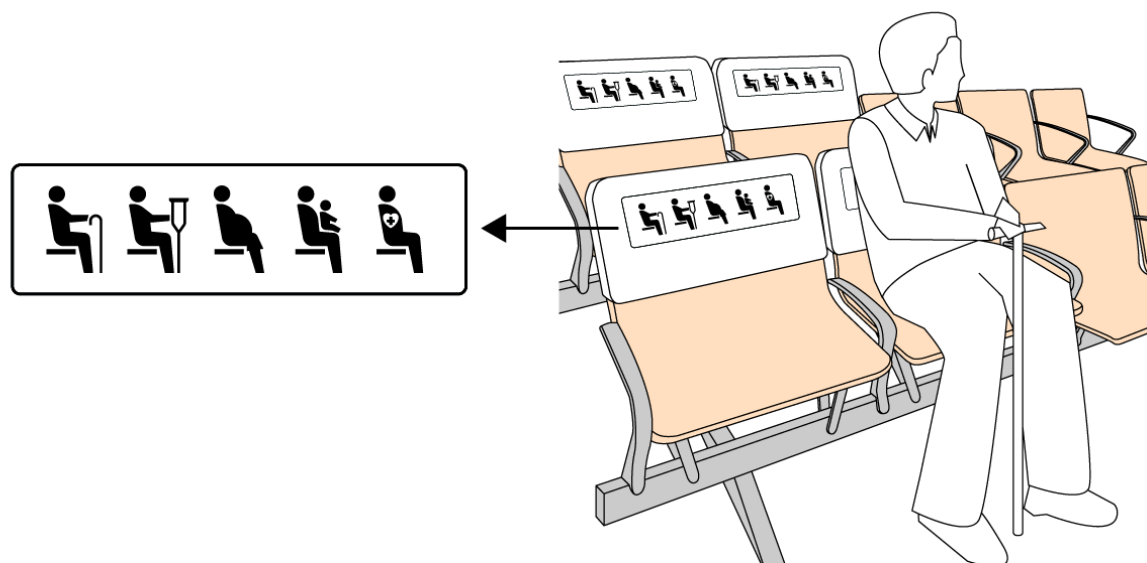


図 JB.5—待合室の優先席での使用例

#### JB.4 その他の組合せ使用例

用途に応じて、優先設備及び優先席の図記号以外の図記号と組み合わせて表示することもできる。図 JB.6 に、高齢者、乳幼児連れなどが使うことのできる多機能トイレの使用例を示す。

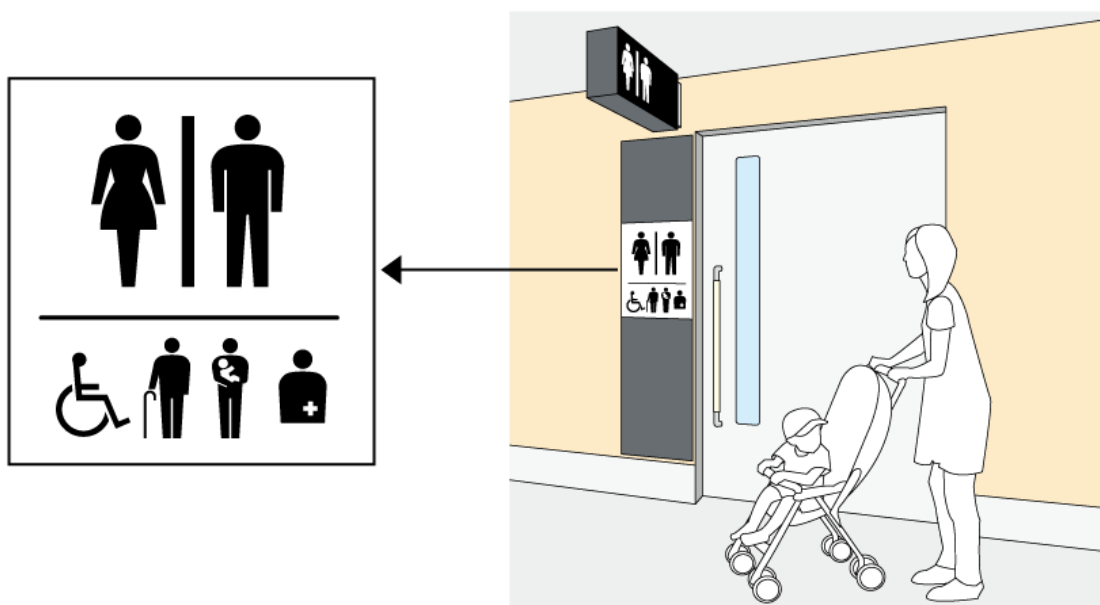


図 JB.6—多機能トイレの使用例

## 附属書 JC

### (参考)

### ベビーカー図記号の使用方法

この附属書は、5.1 の“ベビーカー”図記号及び 6.2 の“ベビーカー使用禁止”図記号を表示する場合の使用方法について記載する。

番号 5.1.53 “ベビーカー”図記号は、公共交通機関、建築物などにおいてベビーカーを使用者が安心して利用できる場所及び設備に掲出する図記号で、主に次の例 1 のような場所へ掲出する。

**例 1** エレベーター、鉄道車両及び車内の車いすスペース、バス車両及び車内のベビーカーが利用できる場所、ベビーカー貸出所、ベビーカー置き場

番号 6.2.16 “ベビーカー使用禁止”図記号は、公共交通機関、建築物などにおいてベビーカーの使用を禁止する場所及び設備に掲出する図記号であり、主に次の例 2 のような場所へ掲出する。

**例 2** エスカレーター

ここでは、次の 2 項目の使用方法について説明する。

- ー “ベビーカー”図記号を単独で使用する場合
- ー “ベビーカー”図記号を組み合わせる場合

#### JC.1 単独で使用する場合

案内図記号として必要とされる場所に、“ベビーカー”図記号を単独で使用する（図 JC.1 参照）。



図 JC.1—単独で使用する場合の基本

#### JC.2 組み合わせる場合

“ベビーカー”図記号は、優先的に使用できるエレベーターなどでは、優先設備図記号と組み合わせる表示することができる。また、鉄道、バス車両などにおける車いすスペースを示す番号 5.1.9 “障害のある

人が使える設備”図記号は、国土交通省のバリアフリー整備ガイドラインでは、周囲の人の協力が得られやすいように車内及び車外に掲出することとされているが、“ベビーカー”図記号についても、ベビーカー使用者が安心して利用できる場所であることが分かるように、“障害のある人が使える設備”図記号と合わせて、車内及び車外に掲出する場合がある。図 JC.2 にエレベーターでの使用例を、図 JC.3 に電車車内での使用例を示す。



図 JC.2—エレベーターでの使用例

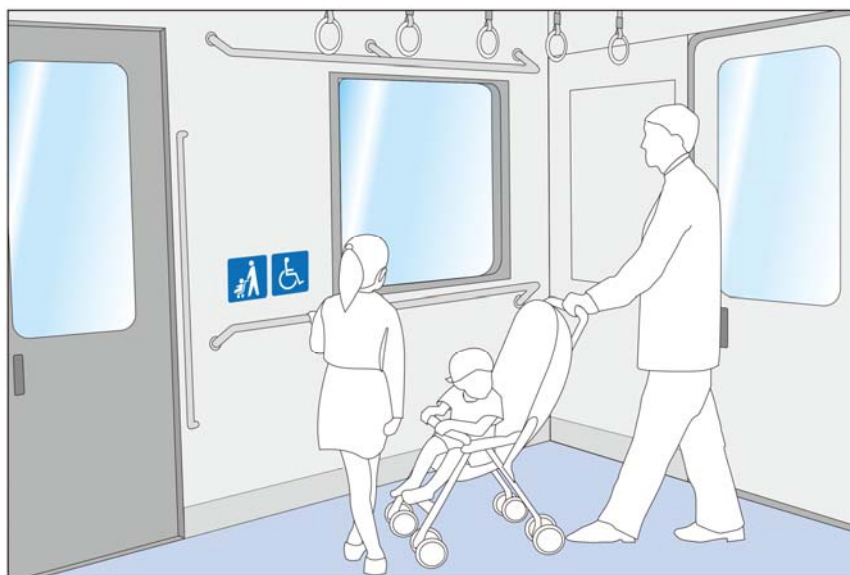


図 JC.3—電車車内での使用例



## 附属書 JD (規定) ヘルプマークの使用方法


### JD.1 一般

義足又は人工関節を使用している人，内部障害又は難病の人，妊娠初期の人など，援助又は配慮を必要としていることが外見からは分からない人々がいる。そうした人々が，身に着け，周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで，援助が得やすくなるように“ヘルプマーク”について規定する。ただし，ヘルプマークは，箇条 3 及び箇条 4 の適用は受けない。

### JD.2 ヘルプマーク

ヘルプマークは，表 JD.1 による。

表 JD.1－ヘルプマーク

番号	表示事項	図記号	記事
JD.1.1	ヘルプマーク Help mark		図材： 十字マーク及びハートマーク。 機能： 援助又は配慮を必要としている人が，身に着けることで，周囲の人に配慮を必要としていることを知らせることができる表示。図記号の縦横比率は変更せずに使用する。 注記 公共交通機関，公共施設などへ掲示する活用例もある。

### JD.3 ヘルプマークの使用例

ヘルプマークの使用は，例えば，電車又はバスの優先席などに掲示し，周囲の配慮を求める場合に使用する。図 JD.1 に電車の優先席での使用例を示す。

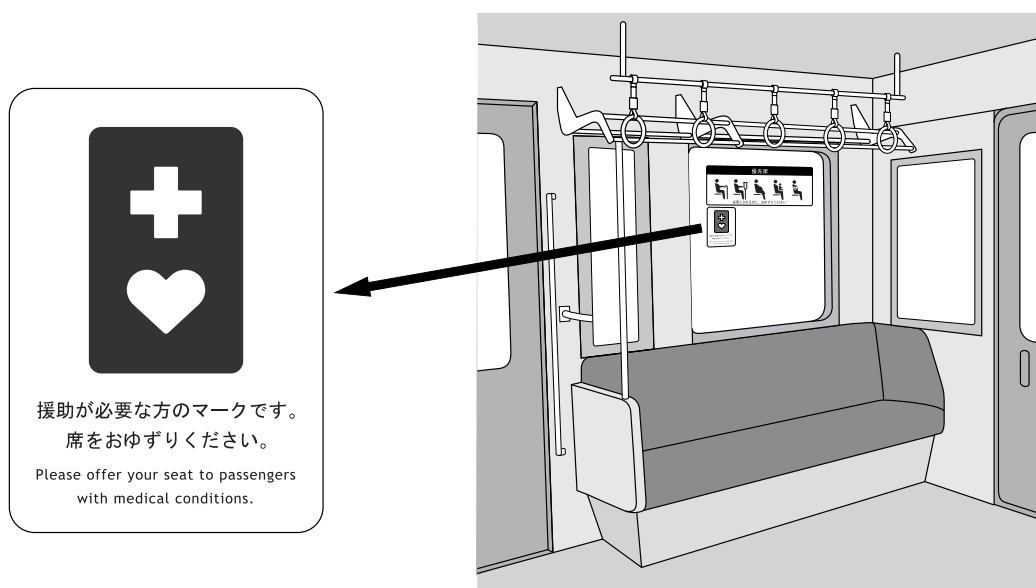


図 JD.1－電車の優先席でのヘルプマーク使用例



- 
- 参考文献** JIS Q 14021 環境ラベル及び宣言－自己宣言による環境主張（タイプⅡ環境ラベル表示）  
JIS S 0101 消費者用警告図記号  
JIS Z 9101 安全色及び安全標識－産業環境及び案内用安全標識のデザイン通則  
JIS Z 9104 安全標識－一般的事項  
ISO 3864-1:2011, Graphical symbols－Safety colours and safety signs－Part 1: Design principles for safety signs and safety markings  
ISO 9186-1:2014, Graphical symbols－Test methods－Part 1: Method for testing comprehensibility  
ISO 22727:2007, Graphical symbols－Creation and design of public information symbols－Requirements  
ヘルプマーク作成・活用ガイドライン（東京都福祉保健局障害者施策推進部計画課）  
ヘルプマークホームページ  
[http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shougai/shougai\\_shisaku/helpmark.html](http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shougai/shougai_shisaku/helpmark.html)  
ヘルプマーク（企業・事業者向け）ホームページ  
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/helpmarkforcompany/>  
ハートシティ東京ホームページ <http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/tokyoheart/>









## 附属書 JE

(参考)

### JIS と対応国際規格との対比表



JIS Z 8210:9999 案内用図記号				ISO 7001:2007, Graphical symbols—Public information symbols ISO 7010:2011, Graphical symbols—Safety colours and safety signs—Registered safety signs ISO 20712-1:2008, Water safety signs and beach safety flags—Part 1: Specifications for water safety signs used in workplaces and public areas			
(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
1 適用範囲		ISO 7001 ISO 7010	1 1		追加	ヘルプマーク、この規格で規定したもの以外の案内用図記号、優先設備及び優先席の図記号の組合せ使用方法、ベビーカー図記号の使用方法について、附属書を追加した。	ヘルプマークは、今後広く普及させるため、JIS として規定した。また、日本国内での使用方法を参考として附属書に示した。
2 用語及び定義		ISO 7001 ISO 7010	2 2				
3 案内用図記号の分類	観光・文化・スポーツ施設図記号を統合	ISO 7001 ISO 7010	5.3 4.3		変更	ISO 7001 では“観光・文化”と“スポーツ”と分類が分かれているところ、この規格では統合して“観光・文化・スポーツ施設図記号”とした。	二つの分類を統合しているだけで、内容は国際規格と整合している。
	災害種別一般図記号を追加	ISO 7001 ISO 7010	5.3 4.3		追加	災害種別一般図記号を追加した。	現在、新しい分類として ISO への追加提案を検討している。
	洪水・堤防案内図記号を追加				追加	洪水・堤防案内図記号を追加した。	国際規格にはない分類だが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。

(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
4 案内用図記号－安全などに用いる基本形状、色及び使い方	災害種別一般及び洪水・堤防案内を追加。				追加	赤の正方形は、 <b>JIS</b> では防火及び危険としているが、 <b>ISO 3864-1</b> では防火のみである。また、 <b>ISO</b> には補助表示の規定がある。また、災害種別一般及び洪水・堤防案内を追加している。	災害種別一般及び洪水・堤防案内については、新しい形状として <b>ISO</b> への追加提案を検討している。
5 案内用図記号－施設などの種類	5.1.1 案内 Information 	<b>ISO 7001</b>	6	PI PF 001 Information 	一致		—
	5.1.2 案内所 Question & answer 				追加		国際規格にはないが、これまでの <b>JIS</b> に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。
	5.1.3 病院 Hospital 	<b>ISO 7001</b>	6	PI PF 002 Hospital 	変更	機能（定義）が同一であるが、イメージコンテンツ（図材と相対的位置）の一部が異なっており、異なっている部分が、その図記号の機能（定義）のキー要素になるため、 <b>ISO</b> 規格と整合していないと見なす。	平成 28 年度に行った <b>JIS</b> 及び <b>ISO</b> 理解度比較試験において、 <b>JIS</b> 図記号の方が <b>ISO</b> 図記号より適切であるという回答の方が多かったため <b>JIS</b> 図記号を維持することとした。

(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
5 案内用図記号—施設などの種類(続き)	5.1.4 救護所 First aid 	ISO 7010	5	ISO 7010-E003 First aid 	一致		—
	5.1.4A 救護所 First aid 				追加		これまでの JIS に採用され、使用されている図記号であるが、今回国際図記号を採用することとしたため、2019 年 7 月 20 日までを移行期間として使用できるとした。
	5.1.5 警察 Police 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。
	5.1.6 お手洗 Toilets 	ISO 7001	6	PI PF 003 Toilets-unisex 	一致	機能(定義)及びイメージコンテンツ(図材と相対的位置)が同一であるため、ISO 規格と整合していると見なす。	—
	5.1.7 男性 Men 	ISO 7001	6	PI PF 004 Toilets-male 	一致	機能(定義)及びイメージコンテンツ(図材と相対的位置)が同一であるため、ISO 規格と整合していると見なす。	—








(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
5 案内用図記号－施設などの種類（続き）	5.1.8 女性 Women 	ISO 7001	6	PI PF 005 Toilets-female 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、ISO 規格と整合していると見なす。	—
	5.1.9 障がいのある人が使える設備 Accessible facility 	ISO 7001	6	PI PF 006 Full accessibility or toilets-accessible 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、ISO 規格と整合していると見なす。	—
	5.1.10 スロープ slope 	ISO 7001	6	PI PF 022 Slope or ramped access 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、ISO 規格と整合していると見なす。	—
	5.1.11 飲料水 Drinking water 	ISO 7001	6	PI PF 007 Drinking water 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、ISO 規格と整合していると見なす。	—

(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
5 案内用図記号－施設などの種類（続き）	5.1.12 喫煙所 Smoking area 	ISO 7001	6	PI PF 015 Smoking area or smoking allowed 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、ISO 規格と整合していると思なす。	—
	5.1.13 チェックイン／受付 Check-in/Reception 	ISO 7001	6	PI PF 008 Check-in or reception 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、ISO 規格と整合していると思なす。	—
	5.1.14 忘れ物取扱所 Lost and found 	ISO 7001	6	PI PF 009 Lost and found or lost property 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、ISO 規格と整合していると思なす。	—
	5.1.15 ホテル／宿泊施設 Hotel/Accommodation 	ISO 7001	6	PI CF 003 Hotel or accommodation 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、ISO 規格と整合していると思なす。	—







(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
5 案内用図記号－施設などの種類（続き）	5.1.16 きっぷうりば／精算所 Tickets/Fare adjustment 	ISO 7001	6	PI PF 010 Tickets or tickets sales 	変更	機能（定義）が同一であるが、イメージコンテンツ（図材と相対的位置）及び図記号が異なるため、ISO 規格と整合していないと見なす。	平成 28 年度に行った JIS 及び ISO 理解度比較試験において、JIS 図記号の方が ISO 図記号より適切であるという回答の方が多かったため JIS 図記号を維持することとした。
	5.1.17 手荷物一時預かり所 Baggage storage 	ISO 7001	6	PI PF 012 Baggage storage or left baggage 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、ISO 規格と整合していると見なす。	—
	5.1.18 コインロッカー Coin lockers 	ISO 7001	6	PI PF 013 Baggage lockers or coin lockers 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、ISO 規格と整合していると見なす。	—
	5.1.19 休憩所／待合室 Lounge/Waiting room 	ISO 7001	6	PI PF 014 Lounge or waiting area 	一致	機能（定義）が同一であり、イメージコンテンツ（図材と相対的位置）の一部が異なっているが、異なっている部分が、その図記号の機能（定義）のキー要素にならないため、ISO 規格と整合していると見なす。	—













(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
5 案内用図記号－施設などの種類（続き）	5.1.20 ミーティングポイント Meeting point 	ISO 7001	6	PI TF 042 Meeting point 	一致		—
	5.1.21 銀行・両替 Bank, money exchange 	ISO 7001	6	PI CF 004 Money/currency exchange or bureau-de-change 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、ISO 規格と整合していると思なす。	—
	5.1.22 キャッシュサービス Cash service 	ISO 7001	6	PI CF 005 Cash service or cash dispenser or ATM (automatic teller machine) 	一致	機能（定義）が同一であり、イメージコンテンツ（図材と相対的位置）の一部が異なっているが、異なっている部分が、その図記号の機能（定義）のキー要素にならないため、ISO 規格と整合していると思なす。	—
	5.1.23 郵便 Post 	ISO 7001	6	PI PF 016 Post or post office or mail box 	一致		—







(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
5 案内用図記号－施設などの種類（続き）	5.1.24 電話 Telephone 	ISO 7001	6	PI PF 017 Telephone 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、ISO 規格と整合している見なす。	—
	5.1.25 ファックス Fax 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。
	5.1.26 カート Cart 	ISO 7001	6	PI PF 018 Baggage trolleys or carts 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、ISO 規格と整合している見なす。	—
	5.1.27 エレベーター Elevator 	ISO 7001	6	PI PF 019 Elevator or lift 	一致	機能（定義）が同一であり、イメージコンテンツ（図材と相対的位置）の一部が異なっているが、異なっている部分が、その図記号の機能（定義）のキー要素にならないため、ISO 規格と整合している見なす。	—







(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
5 案内用図記号—施設などの種類(続き)	5.1.28 エスカレーター Escalator 	ISO 7001	6	PI PF 020 Escalator 	一致	機能(定義)が同一であり、イメージコンテンツ(図材と相対的位置)の一部が異なっているが、異なっている部分が、その図記号の機能(定義)のキー要素にならないため、ISO 規格と整合していると見なす。	—
	5.1.29 上りエスカレーター Escalator, up 	ISO 7001	6	PI PF 034 Escalator, up 	一致	機能(定義)が同一であり、イメージコンテンツ(図材と相対的位置)の一部が異なっているが、異なっている部分が、その図記号の機能(定義)のキー要素にならないため、ISO 規格と整合していると見なす。	—
	5.1.30 下りエスカレーター Escalator, down 	ISO 7001	6	PI PF 033 Escalator, down 	一致	機能(定義)が同一であり、イメージコンテンツ(図材と相対的位置)の一部が異なっているが、異なっている部分が、その図記号の機能(定義)のキー要素にならないため、ISO 規格と整合していると見なす。	—
	5.1.31 階段 Stairs 	ISO 7001	6	PI PF 021 Stairs 	一致	機能(定義)及びイメージコンテンツ(図材と相対的位置)が同一であるため、ISO 規格と整合していると見なす。	—

(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
5 案内用図記号—施設などの種類(続き)	5.1.32 ベビーケアルーム Baby care room 	ISO 7001	6	PI PF 023 Nursery or babe care 	一致		—
	5.1.32A 乳幼児用設備 Nursery 				追加		これまでの JIS に採用され、使用されている図記号であるが、今回国際図記号を採用することとしたため、2019 年 7 月 20 日までを移行期間として使用できるとした。
	5.1.33 クローク Cloakroom 	ISO 7001	6	PI PF 024 Cloakroom 	一致	機能(定義)が同一であり、イメージコンテンツ(図材と相対的位置)の一部が異なっているが、異なっている部分が、その図記号の機能(定義)のキー要素にならないため、ISO 規格と整合していると見なす。	—
	5.1.34 更衣室 Dressing room 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。ISO 7001 での採用を国際委員会で検討中。







(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
5 案内用図記号－施設などの種類（続き）	5.1.35 更衣室（女性） Dressing room (women) 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。ISO 7001 での採用を国際委員会で検討中。
	5.1.36 シャワー Shower 	ISO 7001	6	PI PF 025 Shower 	一致	機能（定義）が同一であり、イメージコンテンツ（図材と相対的位置）の一部が異なっているが、異なっている部分が、その図記号の機能（定義）のキー要素にならないため、ISO 規格と整合していると見なす。	—
	5.1.37 浴室 Bath 	ISO 7001	6	PI PF 026 Bath 	一致	機能（定義）が同一であり、イメージコンテンツ（図材と相対的位置）の一部が異なっているが、異なっている部分が、その図記号の機能（定義）のキー要素にならないため、ISO 規格と整合していると見なす。	—
	5.1.38 水飲み場 Water fountain 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。







(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
5 案内用図記号－施設などの種類（続き）	5.1.39 くず入れ Trash box 	ISO 7001	6	PI PF 027 Trash box or litter bin or rubbish bin 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、ISO 規格と整合していると思なす。	—
	5.1.40 リサイクル品回収施設 Collection facility for the recycling products 	ISO 7001	6	PI PF 066 Recycling 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、ISO 規格と整合していると思なす。	—
	5.1.41 （6.6.1 へ移行）						
	5.1.42 （6.6.2 へ移行）						







(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
5 案内用図記号－施設などの種類(続き)	5.1.43 高齢者優先設備 Priority facilities for elderly people 	ISO 7001	6	PI PF 055 Priority access for elderly people 	一致		—
	5.1.44 障害のある人・けが人優先設備 Priority facilities for injured people 	ISO 7001	6	PI PF 056 Priority access for injured people 	一致		—
	5.1.45 内部障害のある人優先設備 Priority facilities for people with internal disabilities, heart pacer, etc. 	ISO 7001	6	PI PF 057 Priority access for people with internal medical conditions 	一致		—









(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
5 案内用図記号－施設などの種類（続き）	5.1.46 乳幼児連れ優先設備 Priority facilities for people accompanied with small children 	ISO 7001	6	PI PF 058 Priority access for people with small children 	一致		—
	5.1.47 妊産婦優先設備 Priority facilities for expecting mothers 	ISO 7001	6	PI PF 059 Priority access for expecting mothers 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、ISO 規格と整合していると見なす。	—
	5.1.48 高齢者優先席 Priority seats for elderly people 	ISO 7001	6	ISO 7001-PI TF 022 Priority seats for elderly people 	一致		—








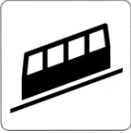






(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
5 案内用図記号－施設などの種類(続き)	5.1.49 障害のある人・けが人優先席 Priority seats for injured people 	ISO 7001	6	PI TF 023 Priority seats for injured people 	一致		—
	5.1.50 内部障害のある人優先席 Priority seats for people with internal disabilities, heart pacer, etc 	ISO 7001	6	PI TF 024 Priority seats for people with internal medical conditions 	一致		—
	5.1.51 乳幼児連れ優先席 Priority seats for people accompanied with small children 	ISO 7001	6	PI TF 025 Priority seats for people with small children 	一致		—





(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
5 案内用図記号－施設などの種類（続き）	5.1.52 妊産婦優先席 Priority seats for expecting mothers 	ISO 7001	6	PI TF 026 Priority seats for expecting mothers 	一致		—
	5.1.53 ベビーカー Prams/Strollers 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。
	5.1.54 無線 LAN Wireless LAN 	ISO 7001	6	PI CF 018 Wireless LAN 	変更	機能（定義）が同一であるが、イメージコンテンツ（図材と相対的位置）及び図記号が異なるため、ISO 規格と整合していないと見なす。	今後、国際規格への提案を検討する。
	5.1.55 充電コーナー Charge point 				追加		今後、国際規格への提案を検討する。






(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
5 案内用図記号－施設などの種類（続き）	5.1.56 自動販売機 Vending machine 	ISO 7001	6	PI CF 020 Snack machine 	一致		
	5.1.57 海外発行カード対応 ATM ATM for overseas cards 				追加		今後、国際規格への提案を検討する。
	5.1.58 オストメイト Facilities for Ostomy or Ostomate 				追加		今後、国際規格への提案を検討する。
	5.2.1 航空機／空港 Aircraft/Airport 	ISO 7001	6	PI TF 001 Airport or aircraft 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、ISO 規格と整合していると見なす。	—

(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
5 案内用図記号－施設などの種類（続き）	5.2.2 鉄道／鉄道駅 Railway/Railway station 	ISO 7001	6	PI TF 002 Railway station or railways or trains 	一致	機能（定義）が同一であり，イメージコンテンツ（図材と相対的位置）の一部が異なっているが，異なっている部分が，その図記号の機能（定義）のキー要素にならないため， <b>ISO</b> 規格と整合していると見なす。	—
	5.2.3 船舶／フェリー／港 Ship/Ferry/Port 	ISO 7001	6	PI TF 004 Port or ship or ferries or boats 	一致	機能（定義）が同一であり，イメージコンテンツ（図材と相対的位置）の一部が異なっているが，異なっている部分が，その図記号の機能（定義）のキー要素にならないため， <b>ISO</b> 規格と整合していると見なす。	—
	5.2.4 ヘリコプター／ヘリポート Helicopter/Heliport 	ISO 7001	6	PI TF 005 Heliport or helicopters 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため， <b>ISO</b> 規格と整合していると見なす。	—
	5.2.5 バス／バスのりば Bus/Bus stop 	ISO 7001	6	PI TF 006 Bus station or bus stop or buses 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため， <b>ISO</b> 規格と整合していると見なす。	—



(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
5 案内用図記号－施設などの種類（続き）	5.2.6 タクシー／タクシーのりば Taxi/Taxi stop 	ISO 7001	6	PI TF 008 Taxi stop or taxis 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、ISO 規格と整合していると思なす。	—
	5.2.7 レンタカー Rent a car 	ISO 7001	6	PI TF 009 Rent-a-car or car rental/hire 	変更	機能（定義）が同一であるが、イメージコンテンツ（図材と相対的位置）の一部が異なっており、異なっている部分が、その図記号の機能（定義）のキー要素になるため、ISO 規格と整合していないと思なす。	平成 28 年度に行った JIS 及び ISO 理解度比較試験において、JIS 図記号の方が ISO 図記号より適切であるという回答の方が多かったため JIS 図記号を維持することとした。
	5.2.8 自転車 Bicycle 	ISO 7001	6	PI TF 010 Bicycle or cycle facility 	一致	機能（定義）が同一であり、イメージコンテンツ（図材と相対的位置）の一部が異なっているが、異なっている部分が、その図記号の機能（定義）のキー要素にならないため、ISO 規格と整合していると思なす。	—
	5.2.9 ロープウェイ Cable car 	ISO 7001	6	PI TF 011 Cable car 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、ISO 規格と整合していると思なす。	—







(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
5 案内用図記号－施設などの種類（続き）	5.2.10 ケーブル鉄道 Cable railway 	ISO 7001	6	PI TF 012 Funicular or cable railway 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、ISO 規格と整合していると見なす。	—
	5.2.11 駐車場 Parking 	ISO 7001	6	PI TF 014 Parking or car Parking 	一致		—
	5.2.11A 駐車場 Parking 				追加		これまでの JIS に採用され、使用されている図記号であるが、今回国際図記号を採用することとしたため、2019 年 7 月 20 日までの移行期間として使用できるとした。
	5.2.12 出発 Departures 	ISO 7001	6	PI TF 015 Flights departures 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、ISO 規格と整合していると見なす。	







(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
5 案内用図記号－施設などの種類（続き）	5.2.13 到着 Arrivals 	ISO 7001	6	PI TF 016 Flight arrivals 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、ISO 規格と整合していると思なす。	
	5.2.14 乗り継ぎ Connecting flights 	ISO 7001	6	PI TF 017 Flight connections 	一致		—
	5.2.14A 乗り継ぎ Connecting flights 				追加		これまでの JIS に採用され、使用されている図記号であるが、今回国際図記号を採用することとしたため、2019 年 7 月 20 日までの移行期間として使用できるとした。
	5.2.15 手荷物受取所 Baggage claim 	ISO 7001	6	PI TF 020 Baggage reclaim 	一致		—





(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
5 案内用図記号－施設などの種類（続き）	5.2.15A 手荷物受取所 Baggage claim 				追加		これまでの <b>JIS</b> に採用され、使用されている図記号であるが、今回国際図記号を採用することとしたため、2019 年 7 月 20 日までを移行期間として使用できるとした。
	5.2.16 税関／荷物検査 Customs/Baggage check 	ISO 7001	6	PI TF 018 Customs or baggage check 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、ISO 規格と整合していると思なす。	—
	5.2.17 出国手続／入国手続／検疫／書類審査 Immigration/Quarantie/Inspection 	ISO 7001	6	PI TF 019 Immigration or passport control/inspection 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、ISO 規格と整合していると思なす。	—



(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
5 案内用図記号—施設などの種類(続き)	5.2.18 駅事務室／駅係員 Station office/Station staff 				追加		今後、国際規格への提案を検討する。
	5.2.19 一般車 Car 				追加		今後、国際規格への提案を検討する。
	5.2.20 レンタサイクル／シェアサイクル Rental bicycle/Bicycle sharing 	ISO 7001	6	PI TF 029 	一致		

(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
5 案内用図記号－施設などの種類（続き）							
	5.3.1 レストラン Restaurant 	ISO 7001	6	PI CF 001 Restaurant 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、 <b>ISO</b> 規格と整合していると見なす。	—
	5.3.2 喫茶・軽食 Coffee shop 	ISO 7001	6	PI CF 002 Refreshments-coffee shop or café or buffet 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、 <b>ISO</b> 規格と整合していると見なす。	—
	5.3.3 バー Bar 	ISO 7001	6	PI CF 008 Bar 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、 <b>ISO</b> 規格と整合していると見なす。	—

(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
5 案内用図記号－施設などの種類（続き）	5.3.4 ガソリンスタンド Gasoline station 	ISO 7001	6	PI CF 009 Filling station 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、ISO 規格と整合していると見なす。	—
	5.3.5 会計 Cashier 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。
	5.3.6 コンビニエンスストア Convenience store 				追加		今後、国際規格への提案を検討する。
	5.4.1 展望地／景勝地 View point 	ISO 7001	6	PI TC 001 Viewpoint or panorama 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、ISO 規格と整合していると見なす。	—

(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
5 案内用図記号－施設などの種類（続き）	5.4.2 陸上競技場 Athletic stadium 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。
	5.4.3 サッカー競技場 Football stadium 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。
	5.4.4 野球場 Baseball stadium 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。
	5.4.5 テニスコート Tennis court 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。

(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
5 案内用図記号－施設などの種類（続き）	5.4.6 海水浴場／プール Swimming place 	ISO 7001	6	ISO 7001-PI SA 003 Indoor swimming pool 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、ISO 規格と整合していると思なす。	—
	5.4.7 スキー場 Ski ground 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。
	5.4.8 キャンプ場 Camp site 	ISO 7001	6	PI TC 002 Campsite or Camping 	変更	機能（定義）が同一であるが、イメージコンテンツ（図材と相対的位置）の一部が異なっており、異なっている部分が、その図記号の機能（定義）のキー要素になるため、ISO 規格と整合していないと思なす。	平成 28 年度に行った JIS 及び ISO 理解度比較試験において、JIS 図記号の方が ISO 図記号より適切であるという回答の方が多かったため JIS 図記号を維持することとした。
	5.4.9a 温泉 Hot spring 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。




(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
5 案内用図記号－施設などの種類（続き）	5.4.9b 温泉 Hot spring 	ISO 7001	6	PI TC 013 Hot spring or hot tub 	一致		—
	5.4.10 コミュニケーション Communication in the specified language 	ISO 7001	6	PI PF 062 Communication in the specified language 	一致		—
	5.4.11 靴を脱いでください Take off your shoes 	ISO 7001	6	PI BP 007 Take off your shoes 	一致		—
	5.4.12 イヤホンガイド Audio guide 	ISO 7001	6	PI TC 014 	一致		

(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
6 案内用図記号－安全などの種類	6.1.1 消火器 Fire extinguisher 	ISO 7010	5	F001 Fire extinguisher 	一致	機能（定義）が同一であり、イメージコンテンツ（図材と相対的位置）の一部が異なっているが、異なっている部分が、その図記号の機能（定義）のキー要素にならないため、ISO 規格と整合していると見なす。	—
	6.1.2 非常電話 Emergency telephone 	ISO 7010	5	E004 Emergency telephone 	変更	機能（定義）が同一であるが、イメージコンテンツ（図材と相対的位置）の一部が異なっており、異なっている部分が、その図記号の機能（定義）のキー要素になるため、ISO 規格と整合していないと見なす。	平成 28 年度に行った JIS 及び ISO 理解度比較試験において、JIS 図記号の方が ISO 図記号より適切であるという回答の方が多かったため JIS 図記号を維持することとした。
	6.1.3 非常ボタン Emergency call button 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。

(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
6 案内用図記号—安全などの種類(続き)	6.1.4 広域避難場所 Safety evacuation area 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。
	6.1.5 避難所（建物） Safety evacuation shelter 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。
	6.1.6 津波避難所 Tsunami evacuation area 	ISO 20712-1	5	WSE002 Tsunami evacuation area 	一致		—





(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
6 案内用図記号—安全などの種類 (続き)	6.1.7 津波避難ビル Tsunami evacuation building 	ISO 20712-1	5	WSE003 building 	一致		—
	6.1.8 列車の非常停止ボタン Emergency train stop button 				追加		今後、国際規格への提案を検討する。
	6.2.1 一般禁止 General prohibition 	ISO 7010	5	P001 General prohibition sign 	一致		—
	6.2.2 禁煙 No smoking 	ISO 7010	5	P002 No smoking 	一致		—

(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
6 案内用図記号—安全などの種類(続き)	6.2.3 火気厳禁 No open flame 	ISO 7010	5	P003 No open flame; Fire, open ignition source and smoking prohibited 	一致		—
	6.2.4 進入禁止 No entry 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。
	6.2.5 駐車禁止 No parking 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。
	6.2.6 自転車乗り入れ禁止 No bicycles 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。





(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
6 案内用図記号—安全などの種類(続き)	6.2.7 立入禁止 No admittance 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。
	6.2.8 走るな／かけ込み禁止 Do not rush 	ISO 20712-1	5	WSP001 No running 	一致	機能(定義)及びイメージコンテンツ(図材と相対的位置)が同一であるため、ISO 規格と整合している見なす。	—
	6.2.9 さわるな Do not touch 	ISO 7010	5	P010 Do not touch 	変更	機能(定義)が同一であるが、イメージコンテンツ(図材と相対的位置)及び図記号が異なるため、ISO 規格と整合していないと見なす。	平成 28 年度に行った JIS 及び ISO 理解度比較試験において、JIS 図記号の方が ISO 図記号より適切であるという回答の方が多かったため JIS 図記号を維持することとした。
	6.2.10 捨てるな Do not throw rubbish 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。

(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
6 案内用図記号—安全などの種類(続き)	6.2.11 飲めない Not drinking water 	ISO 7010	5	P005 Not drinking water 	一致	機能(定義)及びイメージコンテンツ(図材と相対的位置)が同一であるため、ISO 規格と整合していると見なす。	—
	6.2.12 携帯電話使用禁止 Do not use mobile phones 	ISO 7010	5	P013 No activated mobile phone 	一致	機能(定義)が同一であり、イメージコンテンツ(図材と相対的位置)の一部が異なっているが、異なっている部分が、その図記号の機能(定義)のキー要素にならないため、ISO 規格と整合していると見なす。	—
	6.2.13 電子機器使用禁止 Do not use electronic devices 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。
	6.2.14 撮影禁止 Do not take photographs 	ISO 7010	5	P029 No photography 	一致	機能(定義)及びイメージコンテンツ(図材と相対的位置)が同一であるため、ISO 規格と整合していると見なす。	—




(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
6 案内用図記号—安全などの種類(続き)	6.2.15 フラッシュ撮影禁止 Do not take flash photographs 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。
	6.2.16 ベビーカー使用禁止 Do not use prams/strollers 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。
	6.2.17 遊泳禁止 No swimming 	ISO 20712-1	5	WSP002 No swimming 	一致	機能(定義)及びイメージコンテンツ(図材と相対的位置)が同一であるため、ISO 規格と整合していると見なす。	—
	6.2.18 キャンプ禁止 No camping 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。









(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
6 案内用図記号—安全などの種類 (続き)	6.2.19 ホームドア：たてかけない Do not lean objects on the platform door 				追加		今後、国際規格への提案を検討する。
	6.2.20 ホームドア：乗り出さない Do not lean over the platform door 				追加		今後、国際規格への提案を検討する。
	6.3.1 一般注意 General caution 	ISO 7010	5	W001 General warning sign 	一致		—





(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
6 案内用図記号－安全などの種類（続き）	6.3.2 障害物注意 Caution, obstacles 	ISO 7010	5	W007 Warning; Floor-level obstacle 	一致	機能（定義）が同一であり、イメージコンテンツ（図材と相対的位置）の一部が異なっているが、異なっている部分が、その図記号の機能（定義）のキー要素にならないため、ISO 規格と整合していると見なす。	—
	6.3.3 上り段差注意 Caution, uneven access/up 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。
	6.3.4 下り段差注意 Caution, uneven access/down 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。
	6.3.5 滑面注意 Caution, slippery surface 	ISO 7010	5	W011 Warning; Slippery surface 	一致	機能（定義）が同一であり、イメージコンテンツ（図材と相対的位置）の一部が異なっているが、異なっている部分が、その図記号の機能（定義）のキー要素にならないため、ISO 規格と整合していると見なす。	—

(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
6 案内用図記号－安全などの種類（続き）	6.3.6 転落注意 Caution, drop 	ISO 7010	5	W008 Warning; Drop (fall) 	一致	機能（定義）が同一であり、イメージコンテンツ（図材と相対的位置）の一部が異なっているが、異なっている部分が、その図記号の機能（定義）のキー要素にならないため、ISO 規格と整合していると見なす。	—
	6.3.7 天井に注意 Caution, overhead 	ISO 7010	5	W020 Warning; Overhead obstacle 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、ISO 規格と整合していると見なす。	—
	6.3.8 感電注意 Caution, electricity 	ISO 7010	5	W012 Warning; Electricity 	一致		—
	6.3.9 津波注意（津波危険地帯） Warning; Tsunami hazard zone 	ISO 20712-1	5	WSW014 Warnig; Tsunami harzard zone 	一致		—





(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
6 案内用図記号—安全などの種類(続き)	6.3.10 土石流注意 Warning; debris flow 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。
	6.3.11 崖崩れ・地滑り注意 Warning; steep slope failure, landslide 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。
	6.3.12 ホームドア：ドアに手を挟まないように注意 Caution, closing doors 				追加		今後、国際規格への提案を検討する。

(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
6 案内用図記号—安全などの種類(続き)	6.4.1 一般指示 General mandatory 	ISO 7010	5	M001 General mandatory action sign 	一致		—
	6.4.2 静かに Quiet please 	ISO 7001	6	PI TF 001 Quiet please or silence 	変更	イメージコンテンツ(図材と相対的位置)が同一であるが, JIS では指示の分類, ISO では公共施設の分類となっており, 整合していないと見なす。	JIS 及び ISO の分類が一致していないが, その意味するところに差はほとんどないと委員会で判断されたため, JIS を継続して使用することとした。
	6.4.3 左側にお立ちください Please stand on the left 	ISO 7001	6	PI BP 002 Stand on the left (or right) 	変更	イメージコンテンツ(図材と相対的位置)が同一であるが, JIS では指示の分類, ISO では公共マナーの分類となっており, 整合していないと見なす。	JIS 及び ISO の分類が一致していないが, その意味するところに差はほとんどないと委員会で判断されたため, JIS を継続して使用することとした。
	6.4.4 右側にお立ちください Please stand on the right 	ISO 7001	6	PI BP 002 Stand on the left (or right) 	変更	イメージコンテンツ(図材と相対的位置)が同一であるが, JIS では指示の分類, ISO では公共マナーの分類となっており, 整合していないと見なす。	JIS 及び ISO の分類が一致していないが, その意味するところに差はほとんどないと委員会で判断されたため, JIS を継続して使用することとした。

(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
6 案内用図記号—安全などの種類(続き)	6.4.5 一列並び Line up single file 	ISO 7001	6	PI BP 003 Line up or queue in single file 	変更	機能(定義)及びイメージコンテンツ(図材と相対的位置)が同一であるが、JIS では指示の分類、ISO では公共マナーの分類となっており、整合していないと見なす。	JIS 及び ISO の分類が一致していないが、その意味するところに差はほとんどないと委員会で判断されたため、JIS を継続して使用することとした。
	6.4.6 二列並び Line up in twos 	ISO 7001	6	PI BP 004 Line up or queue in twos 	変更	機能(定義)及びイメージコンテンツ(図材と相対的位置)が同一であるが、JIS では指示の分類、ISO では公共マナーの分類となっており、整合していないと見なす。	JIS 及び ISO の分類が一致していないが、その意味するところに差はほとんどないと委員会で判断されたため、JIS を継続して使用することとした。
	6.4.7 三列並び Line up in threes 	ISO 7001	6	PI BP 005 Line up or queue in threes 	変更	機能(定義)及びイメージコンテンツ(図材と相対的位置)が同一であるが、JIS では指示の分類、ISO では公共マナーの分類となっており、整合していないと見なす。	JIS 及び ISO の分類が一致していないが、その意味するところに差はほとんどないと委員会で判断されたため、JIS を継続して使用することとした。
	6.4.8 四列並び Line up in fours 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。

(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
6 案内用図記号－安全などの種類（続き）	6.4.9 矢印 Directional arrow 	ISO 7001	6	PI PF 030 Direction arrow 	一致	機能（定義）及びイメージコンテンツ（図材と相対的位置）が同一であるため、ISO 規格と整合していると思なす。	—
	6.4.10 シートベルトを締める Fasten seat belt 	ISO 7010	6	M020 Wear safety belts 	一致		
	6.5.1 洪水／内水氾濫 Flood from rivers/ Flood from inland waters 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。
	6.5.2 土石流 Debris flow 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。

(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
6 案内用図記号—安全などの種類(続き)	6.5.3 津波／高潮 Tsunami/Storm surges 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。
	6.5.4 崖崩れ・地滑り Steep slope failure, landslide 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。
	6.5.5 大規模な火事 Fire disasters 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。
	6.6.1 洪水 flood 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。

(I) JIS の規定		(II) 国際規格番号	(III) 国際規格の規定		(IV) JIS と国際規格との技術的差異の箇条ごとの評価及びその内容		(V) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
箇条番号及び題名	内容		箇条番号	内容	箇条ごとの評価	技術的差異の内容	
6 案内用図記号－安全などの種類（続き）	6.6.2 堤防 levee 				追加		国際規格にはないが、これまでの JIS に採用され、使用されている図記号のため、継続して使用することとした。
附属書 JA（参考）	この規格で規定したもの以外の案内用図記号				追加		これまでの JIS に参考として採用され、使用されている図記号のため、参考として継続して使用することとした。
附属書 JB（参考）	優先設備及び優先席の図記号の組合せ使用方法				追加		これまでの JIS に参考として採用されているため、継続して使用することとした。
附属書 JC（参考）	ベビーカー図記号の使用方法				追加		これまでの JIS に参考として採用されているため、継続して使用することとした。
附属書 JD（規定） ヘルプマークの使用方法	ヘルプマーク Help mark 				追加		国際規格にはないが、今後広く普及させるため、JIS として規定した。

JIS と国際規格との対応の程度の全体評価：(ISO 7001:2007, ISO 7010:2011, ISO 20712-1:2008, MOD)	
注記 1	箇条ごとの評価欄の用語の意味は、次による。 <ul style="list-style-type: none"><li>— 一致 ..... 技術的差異がない。</li><li>— 追加 ..... 国際規格にない規定項目又は規定内容を追加している。</li><li>— 変更 ..... 国際規格の規定内容を変更している。</li></ul>
注記 2	JIS と国際規格との対応の程度の全体評価欄の記号の意味は、次による。 <ul style="list-style-type: none"><li>— MOD ..... 国際規格を修正している。</li></ul>